



サルビア

令和4年10月13日 第43号

帰ってきた！伊勢崎市陸上教室記録会！！



10月12日（水）伊勢崎市陸上競技場において「伊勢崎市陸上教室記録会」が開催され5・6年児童37名が、赤堀東小学校の代表として参加しました。この日を目指して、毎日、放課後練習に汗を流した子どもたち。最後の練習後には、児童と教職員がみんなで円陣を組み「赤堀東小 ファイト！ オーッ！」と声を合わせて、本番への気持ちを作りました。

当日は陸上競技場の雰囲気や各校の代表選手を見て「緊張する」というつぶやきも聞こえましたが、がんばってきたからこそ緊張です。準備運動をし

て体を温め、いざ本番。各々の種目に全力で挑んでいきました。幅跳びや高跳びの力強い跳躍、100m走のゴール間際の大接戦、800m、1000m走の残り1周のせめぎあい、弧を描くソフトボール、体にしみこんだハードリングのリズム…子どもたちの躍動する姿に圧倒されました。

自分の出番以外でも、競技中の友達を精一杯応援したり、他校の選手と健闘を讃え合ったりする姿を目の当たりにして「今年は開催できてほんとうによかったなあ」と心から思いました。

代表選手はもちろん、学校に残って応援してくれた子どもたちや健康管理に心を配ってくださったご家族の皆様、日々の指導にあたった教職員、たくさんの時間と力を注いで準備をしてきた伊勢崎市の体育主任会のメンバーなど、感謝の気持ちを伝えたい方々がたくさんいます。ほんとうにありがとうございました。

運動会の練習に思う



各学年の練習に加え、全体練習も本格的に始まりました。団別に並ぶ姿も久しぶりに見る光景です。感染症対策に気を配りながらも、今できることに取り組んでいます。

さて、あたりまえのように行っていた運動会ですが、開催することのできなかつた日々を思い出しつつ、今、改めて何のために行うのかを考えています。運動を楽しんだり、体力をつけたりすることはもちろんですが、その後の生活をよりよくするためのものであってほしいと思います。運動会の後は「前より元気よく挨拶ができるようになった」「他学年にも言葉を交わす友達が増えた」「係の仕事に責任をもつようになった」「そうじを一生懸命にするようになった」というように。運動会での整列や精一杯の応援、準備や片付けなどには賞状は出ませんが、そういうところで頑張れる子は大きく成長するはずです。どうか、ご家庭でも「賞状の出ないところこそ大切だよ」と言葉がけをお願いいたします。